

「横浜スカーフ・アーカイブ資料」が 横浜市歴史博物館で閲覧できるようになりました

伝統ある「横浜スカーフ」の現物資料と、写真や台帳記録のデータベースを含めた「横浜スカーフ・アーカイブ資料」が横浜市歴史博物館（横浜市都筑区、運営：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団、館長：佐藤信）に移管され、図書閲覧室にてデータベースの閲覧ができるようになりました。今後、展覧会等でも活用していきます。

横浜スカーフ・アーカイブ資料とは

横浜市では、平成6年に日本輸出スカーフ等製造工業組合から寄贈された約11万点に上るスカーフ資料（現物）を保管しています。また、平成25年度に「横浜スカーフ研究会」を組織し、学識経験者や関係企業の方々のご協力を得て、この貴重な資料を整理し、データベースを作成しました。アーカイブ資料とは、これらのスカーフ資料（現物）とデータベースを合わせたものです。データベースには歴史的に価値のある約3万点のスカーフの図柄の写真が保存されており、これまで、横浜市工業技術支援センターにおいて保管し、デザインを利用した新商品の開発等で活用されてきました。このたび広く市民に開放し、更なる有効活用を図るため「横浜スカーフ・アーカイブ資料」を横浜市歴史博物館に移管しました。



移管された横浜スカーフ・アーカイブ資料（博物館の収蔵庫に立ち入っての閲覧はできません）

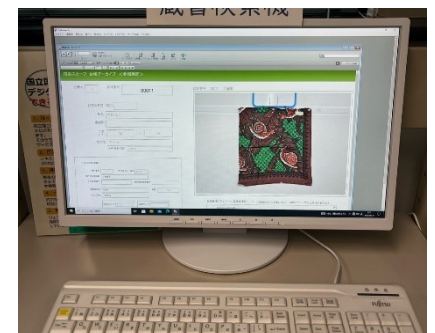
データベースの閲覧について

閲覧場所：横浜市歴史博物館2階 図書閲覧室

利用料：無料（入室・閲覧申請手続き不要）

※データベースは横浜中央図書館（横浜市西区老松町1）でも閲覧可能です。

※現物資料の閲覧は、従来と異なり事前申請が必要です。日程調整の上、後日の閲覧が可能です。希望される方へは写真データの提供も行っておりますので博物館へお問い合わせください。



図書閲覧室のデータベース閲覧端末

開催中の特別展でも展示されています

現在、横浜市歴史博物館では、特別展「みんなであつなげる鉄道150年」を開催中ですが、本展覧会においても、横浜スカーフ・アーカイブ資料より、横浜高速鉄道みなとみらい線の座席のデザインモチーフとなったスカーフの原資料及び座席の模型を展示しています。

（展覧会会期：令和4年9月25日（日）まで）

左：開催中の特別展チラシイメージ
 右上：みなとみらい線の座席のモチーフとなったスカーフ
 右下：みなとみらい線の座席の模型



お問合せ先

横浜市歴史博物館 副館長：刈田均 学芸員：石崎康子 広報プロモーション担当：羽毛田智幸
 045-912-7777